

No. 15

社協

おうみはちまん



福祉のつどい（桐原学区）

10月1日～12月31日 赤い羽根共同募金

今年も10月1日から赤い羽根共同募金活動が始まります。皆さまから寄せられた善意の募金は、市で、被災地で、県内で一体どのように活用されているのでしょうか？



イオン前での街頭募金活動



福祉教育学級（馬淵小学校）

目次

赤い羽根共同募金特集.....	1	たのしいサマーホリデーをありがとう.....	5
あなたの募金は、あなたの町へ。.....	2	桐原学区地区社協ニュース.....	6
みんなのまちを良くするしくみ.....	3	民児協だより.....	7
被災したまちを支えるしくみ.....	4	掲示板、福祉大会.....	8
すくすく育て「ふくしの芽」.....	5	善意銀行、発展強化事業.....	8



社会福祉法人 **近江八幡市社会福祉協議会**

本所 近江八幡市土田町1313
TEL: 0748-32-1781
FAX: 0748-36-6910

支所 近江八幡市安土町上出908-1
TEL: 0748-46-2571
FAX: 0748-46-5550

赤い羽根共同募金ってなんだろう？
みなさまからいただいた善意の募金
近江八幡市ではどのように活かされている
のでしょうか？

**あなたの募金は、
あなたの町へ。**

近江八幡市共同募金委員会

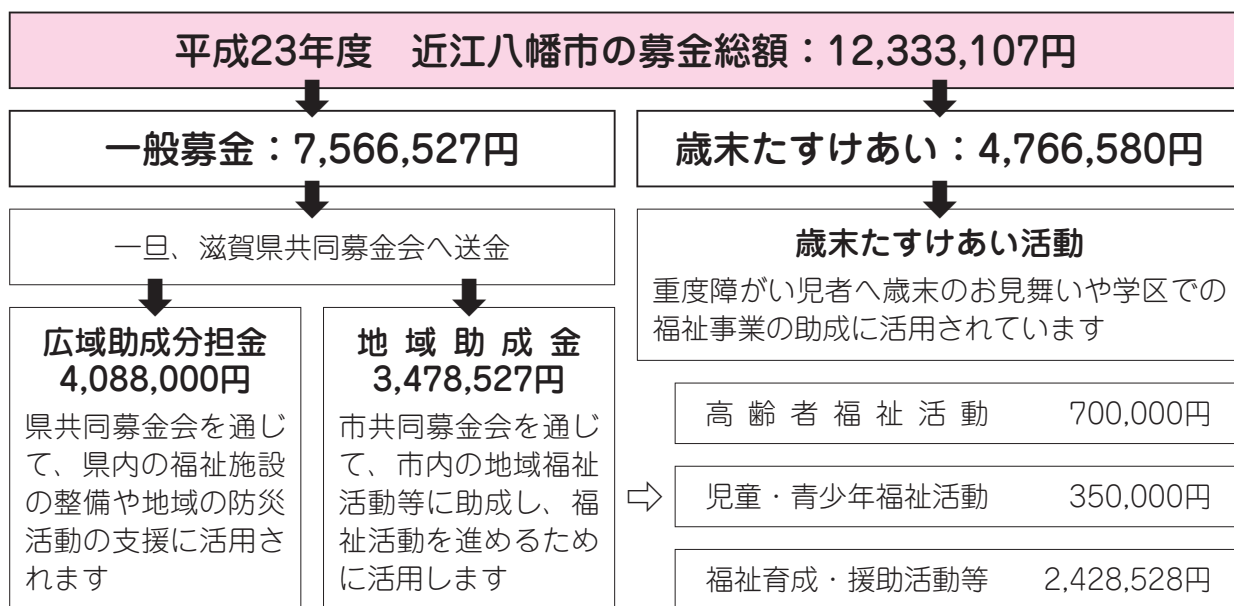
**意外に知らない？
赤い羽根共同募金のはじまり**

「赤い羽根共同募金」聞いたことはあっても、どういう募金活動なのか知らない人は多いのではないのでしょうか？

赤い羽根共同募金の始まりは、第2次世界大戦が終わった昭和22年。戦後の復興の一助として、戦争で打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援をする活動として市民が主体となった取り組みです。今では、ニーズの変化により地域福祉の問題解決に向けた取り組みを支援しています。

募金の使われ方

募金の約70%は近江八幡市で活用されています。残り30%は市を超えた広域的な課題を解決するために、滋賀県内で活用されています。



近江八幡市での募金活用は？

近江八幡市のみなさまからお寄せいただきました募金は、地域における福祉活動を推進し、誰もが住みなれた地域で暮らすことが出来るように役立たせていただく他、災害発生時には「災害ボランティアセンター」の設置等の被災者支援にも役立たせていただいております。

高齢者福祉活動

各学区地区高齢者福祉事業
や福祉団体へ

児童・青少年福祉活動

自治会の遊び場(遊具など)
福祉推進校(市内の学校)へ助成

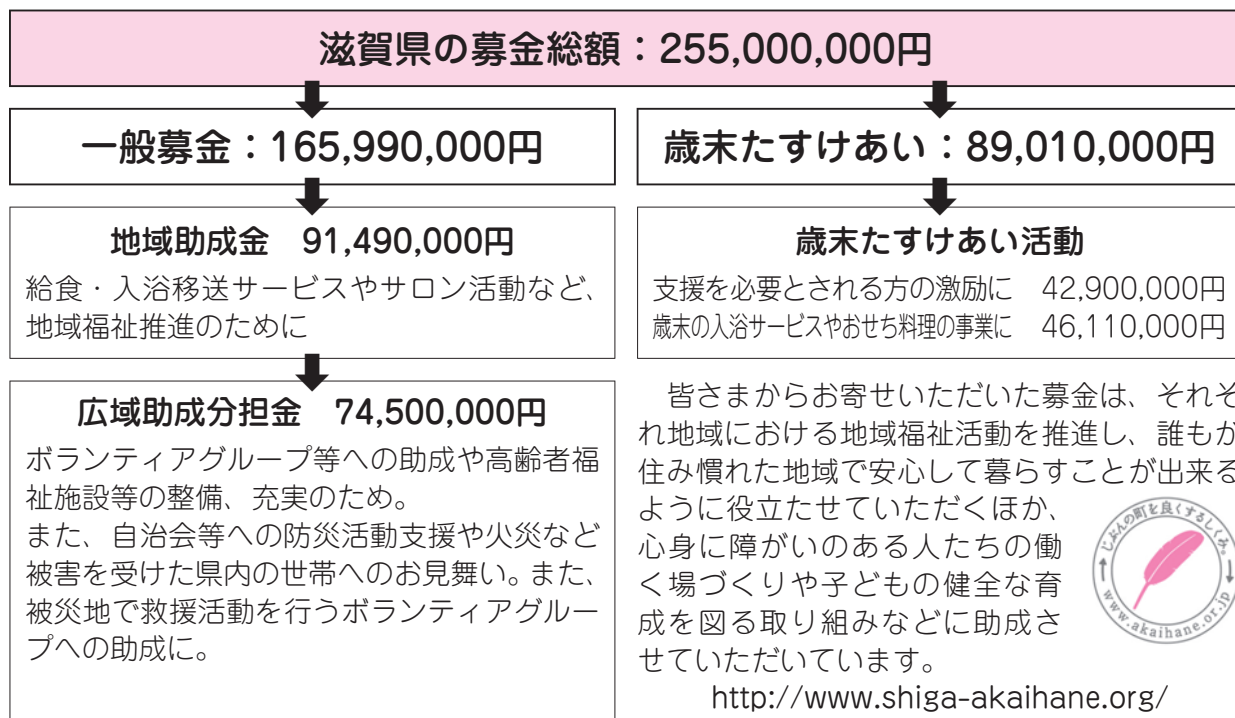
福祉育成・援助活動

学区地区社協や里親会、市
社協広報など

滋賀県としての共同募金の活用とは
どのようなものでしょうか？
県内から寄せられた約30%の募金
広域的な課題解決とはなんでしょうか？

みんなのまちを
良くするしくみ

滋賀県共同募金会



平成24年度 共同募金助成金の募集

皆さまから寄せられた共同募金は、社会福祉活動や更生保護事業の推進に役立てられていますが、社会情勢の変化に伴い共同募金に対するニーズも変わりつつあります。近江八幡市共同募金委員会では、共同募金の基本理念である「住民相互のたすけあい」を基本として幅広い観点から地域福祉の推進を図るため、多くの団体等からの申請を募ります。

対象

住民の福祉向上のために活動する団体で、少なくとも1年以上の活動実績がある団体

対象事業

- 高齢者福祉活動
- 障がい児(者)福祉活動
- 児童・青少年福祉活動
- 住民全般福祉活動
- ※ただし、人件費や団体の運営費は対象外

助成期間

平成24年10月1日(月)～10月31日(水)

申請について

申請用紙は、近江八幡市社会福祉協議会事務所および社協ホームページでダウンロードできます。



1人1人から寄せられた復興への思いは、義援金は、一体どのような形で被災地へ届けられ、活用されているのでしょうか？

被災したまちを支えるしくみ

中央共同募金会



助成先等詳細は
中央共同募金会
<http://www.akaihane.or.jp>
をご覧ください

被災地では震災直後から災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアの受け入れやコーディネートを行っています。共同募金会では、東日本大震災の被災地で立ち上がった約100ヶ所の災害ボランティアセンターに対して、活動資金として助成を行なってきました。

被災地では復興に向けてさまざまな取り組みが進められています。被災された方々を取り巻く環境は厳しく、生活再建に向けて今後もボランティア・NPOによる活発な活動が期待されています。赤い羽根共同募金会では、被災地の一日も早い復興に向けて、息の長い被災者支援を今後も続けていきます。

東北被災県へ災害支援

ありがとう
メッセージ

気仙沼市災害 ボランティア センター

東日本大震災の被害により、気仙沼市社会福祉協議会は壊滅状態となりました。書類や車輦などほとんど全てが流失してしまい、長い歴史の記録として波に飲み込まれる様子を、ただ呆然と見るしかありませんでした。

本会では運営する事業所や施設等も10ヶ所被災してしまいました。仮設施設で再スタートし、役員一丸となって頑張っています。

これまでセンターを運営できたのも、気仙沼へ駆けつけてくれたボランティアさんをはじめ、資金面で暖かいご支援を下さった皆様のおかげです。あらためて感謝申し上げます。寄付者の皆さま、ご支援ありがとうございました。



災害に備えて

近江八幡市社会福祉協議会では、災害に備えて発電機や投光機など備品を共同募金で購入しました。

この備品は、電気などライフラインの停止になってもすぐに「災害ボランティアセンター」が立ち上げられるよう備えたものです。災害ボランティアセンターは、助けてほしい人（地域）と助けたい人（ボランティアやNPOなど）を結ぶ大切な機能であるため、災害が起きた時にはいち早い立ち上げと円滑な運営が求められます。安心してこのまことに暮らし続けるために、もしもへの備え・対策をもち減災に取り組んでいきます。



あそびあそび育て 「ふくしの芽」

人が人を支える しくみを支援

社協 地域福祉



靴下ペア合わせ（武佐小学校）

社協では、福祉体験の出前教室を実施しています。

6月では北里小学校と武佐小学校の4年生を対象に、7月では市内企業の新人社員を対象に実施。

今回の体験は「車椅子」「視覚障がい」について。

車椅子体験は、生徒に身近な校内のスロープや下駄箱の段差を使って体験。

視覚障がいの体験は、特殊な眼鏡やアイマスクを使ってもらい、見えない・

見えにくい状態で紙飛行機を折ったり靴下のペアを合わせたり、硬貨を順に並べたりと日常生活に関わる体験をしました。

「見えないことがこんなにも大変だとは思わなかった」と相手の気持ちをより一層理解することが出来ました。



硬貨並べ（市内企業新人研修）

たのしいサマーホリデーを ★ありがとう★



近江八幡市では、2ヶ所でサマーホリデーが開催されました。

サマーホリデーとは、障がいのある子が夏休みの生活をリズムよく元気いっぱいにご過ごせるよう、市内公共施設で工作やおやつ作りなどをして遊んだりバスでお出かけをしたりしています。そういったイベントをする中で、多くのボランティアさんにご協力いただき、さらに充実した事業を展開しています。

はちの子では、学生などによる個人ボランティアのほか、7グループのボランティアの皆さんより、子ども達にそれぞれ工夫をしながら美味しい昼食を作っていただきました。



スマイルでは、民生委員児童委員さんだけでなく、幅広い年齢層のボランティアの方々が、紙芝居や3B体操、レクリエーションなどで子ども達に楽しい時間を提供して下さいました。

今年も子ども達にたくさんの思い出が出来ました。

ご存知ですか？あなたの町の社協活動

学区地区社協ニュース



桐原学区社会福祉協議会

所在地：近江八幡市中小森町1178

Tel：33-3535

Fax：33-3569

明るい社会をめざして！

桐原学区社協主管事業の1つとして、7月28日（土）に「社会を明るくする運動・学区民大会」を開催しました。

大会では、近江八幡警察署生活安全課長 谷氏より明るい社会を目指してと題し話をいただきました。インターネットの問題による青少年の犯罪についてや情報リテラシーについて話し、そこから地域と家庭の規範意識の低下や子どもは親を映す鏡である事を指摘され、社明運動を行なう中で大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。



講師 谷氏より

元々この運動の発端は、戦後間もない暗く澁んだ社会を復興させようと誰からでもなく声が上がリ、東京の銀座界隈から始まったときいています。きっと当時は青空の下、みんなで肩を組んで合唱でもしたのでしょうか・・・？それが、今日までの時代背景の中で様々に形を変え、



研修会の様子

定着してきたと思われます。

桐原でも、どのようなメッセージを学区民のみなさんにお届けしようかと毎年考えるわけですが、地域の住民が「心豊かに、楽しく、明るく生きる」ためには、お互いを思いやる心を大切にし、助け合い、見守りながら暮らしていくという、当学区社協独自のコンセプトを軸に、これからもこの運動を盛り上げていこうと考えています。



こんにちは、民生委員です！（島学区）

当学区は、市内最北部に位置し、琵琶湖で唯一人の住む島である「沖島町」を含め 戸数約640戸、人口約2,400人が暮らしています。背に奥島山、前には琵琶湖と山紫水明の非常に条件の整った地域です。奥島山の山麓には、西国三十一番札所長命寺さんがあるお陰により近江八幡市内に於いても高齢化率が上位をなしています。



この度県内の中学校で、「いじめ」により尊い人命をなくした大変な事件が起きております。テレビに於いて全国ニュースでも報じられています。原因については現在、司法により究明されておりますが、昔から人の出入りの少ない島学区に於きましても時代の移り変わりと同じくして、何が起こるかわからない中で委員相互の緊密な連携のもとに、常に「目配り」「気配り」「心配り」をし、そして「学校」「地域」「家庭」と心をつなげて事故を未然に防ぐよう常に心掛けて、活動をしています。

今まで、平成18年度より「民生委員児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」を市内他学区より先がけ「マップ」「要援護者台帳」を作成し、一人暮らしの人や障がいをお持ちの人に対し心配りをしています。



また、今回行政より「命のバトン」「三者連携」「自殺予防」と、大変重要な活動が望まれています。地域に於きましても民生委員の名前、ましてや活動も知らない住民がおられる事に対し、我々はもっとPRし、地域の皆様方と信頼関係を築き、そして心と心の“絆”をしっかりと結び～当地域で住んで良かった～とだけ言っただけのような活動を、今後も「広げよう地域に根ざした思いやり」を目指して……



掲 示 板

見えない世界 トーク&コンサート

第1回視覚障害に対する「心のバリアフリー」を進める啓発活動として、開催します。

講演会	日 時：11月11日(日)	予約申込先・問合せ
「見えない世界で生きること」	12時30分 開場	〒529-1433
松永信也氏	13時～16時開演	東近江市五個荘木流町384
コンサート	場 所：びわ湖ホール	JRPS事務局 田中 宛
ピアノ 前川裕美氏	(小ホール)	Tel/Fax：0748(48)2413
演 奏 カルテットEです	入場料：500円/1人	

※入場するには、事前予約が必要です。「ハガキ」に氏名・住所・郵便番号・人数を記入の上、右記事務局までお申込下さい。折り返し「予約券」を送付しますので、当日「受付」にて「予約券」に参加協力金1人500円を添え、「入場チケット」と交換してください。なお、事前予約の申込は 平成24年8月1日～平成24年10月31日 まで。

第3回近江八幡市社会福祉大会を開催します

10月6日(土)に近江八幡市文化会館小ホールで「第3回近江八幡市社会福祉大会」を開催します。

この大会は、福祉関係者と福祉に関心のある地域住民の皆様が一堂に集まり、地域の福祉功労者の表彰と福祉にかかわる記念講演会を行うものです。

お誘い合わせのうえご来場くださいますようお願い申し上げます。

と き	平成24年10月6日(土) 13：30から16：00の予定
場 所	近江八幡市文化会館小ホール (近江八幡市出町366番地)
講演会	大津市山中比叡平学区の活動紹介 他 (※講演会は14：30頃からの予定です)
入場料	無 料

善意 ありがとうございます

(平成24年7月～8月分)

地域福祉等のため、次のとおりご寄付をいただきました。助け合いや地域福祉活動等の支援に大切に活用させていただきます。皆さまのご厚意に厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)

順応寺サロン	11,000円
匿名	10,000円
黒橋町自治会	17,375円
民生委員児童委員総務OB有志喜楽会	8,715円
小田町自治会	10,700円
長谷川博通・則子	7,000円

より良い地域福祉活動の推進をめざし 近江八幡市社協「発展強化計画」 を策定します

昨年、市社協が策定をした「地域福祉活動計画」を推進していくため、組織や財政基盤の強化など取り組むべき重点課題を定め、計画的に取り組めるように「発展強化計画」を策定します。

発展強化計画は、地域福祉を推進する中核的な団体として事業運営・経営のビジョンや目標を明確にし、その実現に向けた組織、事業、財政等に関する具体的な取り組みを明示したものです。

職員一人一人が業務を見直し、各部門間の共通目標を明確にし、社協全体で取り組みの方向性を明らかにし「助けあい支えあいで誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指します。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。